

環境基本計画 年次報告

安城市環境報告書

平成26年度版（平成25年度の状況）



安 城 市

みなさまのご意見・ご感想をお寄せください

安城市では、安城市環境基本計画に掲げる各種施策及びこの環境報告書の内容について、市民、事業者のみなさまからの声を環境行政に反映させるため、広くご意見・ご感想を募集しています。

1 意見等の締切日

平成 27 年 1 月 30 日(金)

2 意見等の提出先及び提出方法

安城市役所 環境部環境首都推進課

- (1) 郵 送 の 場 合：〒446-8501 安城市桜町 18-23
- (2) ファックスの場合：0566-76-1112 (代)
- (3) 電子メールの場合：kankyo@city.anjo.aichi.jp

※様式は自由です。なお、この環境報告書の巻末にアンケートも兼ねた参考様式を掲載していますので、ご利用ください。また、ご意見等の提出の際には必ずご住所・お名前・電話番号・FAX 番号・メールアドレス等をご記入ください。

なお、お電話でのご意見は受けかねますのでご了承ください。

※お寄せいただいたご意見については、個別に回答いたしません。

3 問い合わせ先

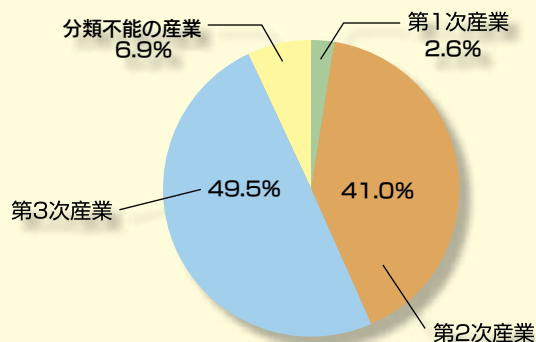
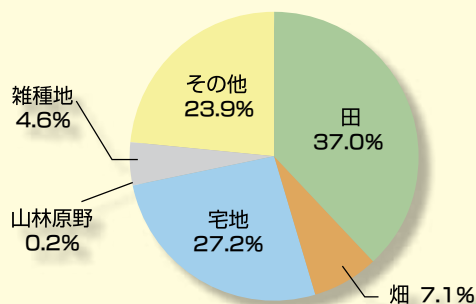
安城市役所 環境部環境首都推進課 TEL 0566-71-2206

●安城市の概要 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

- ◆人 口 184,074 人 (男 94,340 人・女 89,734 人)
- ◆世帯数 70,646 世帯
- ◆面 積 86.01km² (南北 13.7km・東西 10.6km)



●土地利用状況 (平成 26 年 1 月 1 日現在) ●産業別就業者数 (平成 22 年 10 月 1 日国勢調査)



市民とともに育む

環境首都

 安城

私たちのまち安城市は、きれいな水と豊かな自然に恵まれ、人情あふれるまちとして歴史を刻んできました。

この環境を守り大切にし、より良い環境を次の世代に引き継ぐことは私たちの責務であり、市民、事業者、市が手を取りあって取り組んでいかなければなりません。

市民一人ひとりが地球的な視点に立ち、省資源・省エネルギー・リサイクルなどを実践していくことにより環境への負荷を軽減するとともに、人間と環境のかかわりについての理解を深め、身近なところから着実に行動していくことが大切です。市においても、あらゆる施策に環境の視点を取り入れることにより「つくる」から「いかして使う」へ発想を転換し、自然環境のみならず人の暮らしを取り巻く人間環境についてもよりよいものを市民と協働で築き上げていきます。

そして、これまでに培ってきた歴史や文化など安城市の環境資源を最大限に活用し、安城市の特色を生かした個性あるまちづくりをめざします。

第7次安城市総合計画

安城市が推進する 環境施策

安城市環境基本

市

1 都市基盤・交通

都市と自然

- ① 豊かな緑の確保
- ② 健全な水環境の確保
- ③ 多様な生態系の保全

都市・
交通システム

- ① 自動車利用からの転換
- ② 環境負荷の少ない都市づくり

2 農業・産業

農業

- ① 農と環境との調和

産業活動

- ① 事業者の取組み支援
- ② 公害の防止と廃棄物の減量

めざす

市民とともに育む

環境首都

事業者

安城市環境基本計画

この計画は、「安城市総合計画」を環境面から補完する計画として位置づけ、環境施策の基本とするものです。

本市では、平成13年3月に環境基本計画を策定し、平成32年度を目標年次とした長期計画となっています。社会情勢の変化などに適合させるため、5年を目処に定期的な見直しを行うこととしており、平成23年3月に2回目の改定を行いました。めざす都市像を「安城市総合計画」同様、「市民とともに育む環境首都・安城」とし、「都市基盤・交通」、「農業・産業」、「ライフスタイル」、「地球環境」の体系で施策の整理をしています。

計画の体系図

民

都市像

安城

市

3 ライフスタイル

くらしの
省エネルギー

- ① 家庭における省エネルギー行動の促進
- ② 移動における省エネルギー行動の促進
- ③ 建築物の省エネルギー化の促進
- ④ 新エネルギーの利用

家庭のごみ

- ① ごみ減量の推進
- ② 適正な廃棄物処理

健全な
生活環境

- ① 良好な生活環境の形成
- ② 生活型公害の防止

環境意識と
協働

- ① 環境学習の推進
- ② 環境行動力の向上

4 地球環境

くらしの低炭素化

交通・物流の低炭素化

産業活動の低炭素化

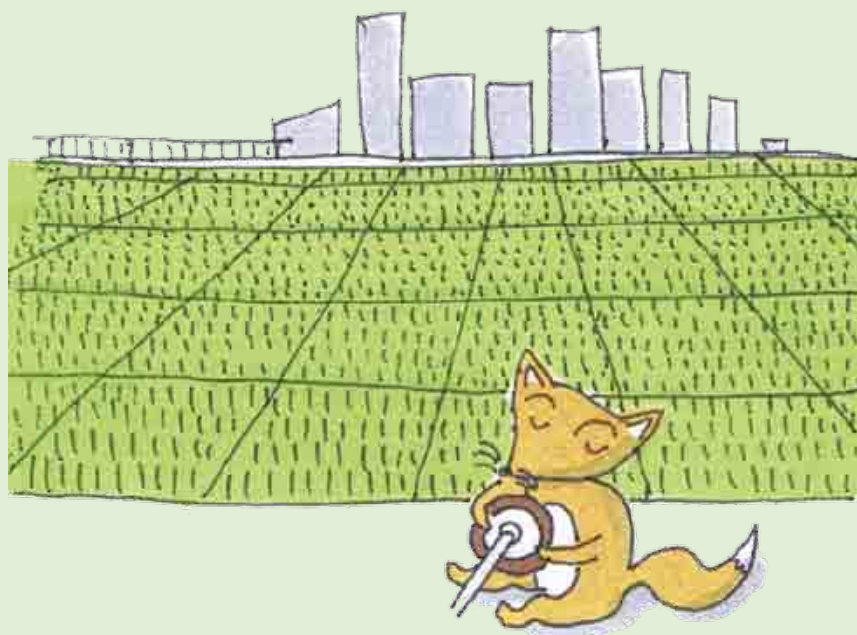
ごみ処理の低炭素化

目次

■ めざす都市像「市民とともに育む環境首都・安城」	i
■ 安城市が推進する環境施策、安城市環境基本計画の体系図	ii、iii
■ 環境の現況	1
1 人口	2
2 土地利用	2
3 農業	2
4 各種測定結果	3
5 ごみ排出量とリサイクル率	9
6 温室効果ガス排出量	10
7 エネルギー消費量	10
■ めざす都市像の実現に向けた取組み	11
1 都市基盤・交通	12
(1) 都市と自然	13
(2) 都市・交通システム	18
2 農業・産業	20
(1) 農業	21
(2) 産業活動	23
3 ライフスタイル	24
(1) くらしの省エネルギー	25
(2) 家庭のごみ	29
(3) 健全な生活環境	32
(4) 環境意識と協働	33
4 地球環境	37
■ 安城市環境マネジメントシステム部門別実行計画達成状況	39
■ 平成 26 年度 環境関連事業一覧	42
■ 意見記入用紙	45

環境の現況

平成 25 年度における環境の現況を表すデータを紹介します。

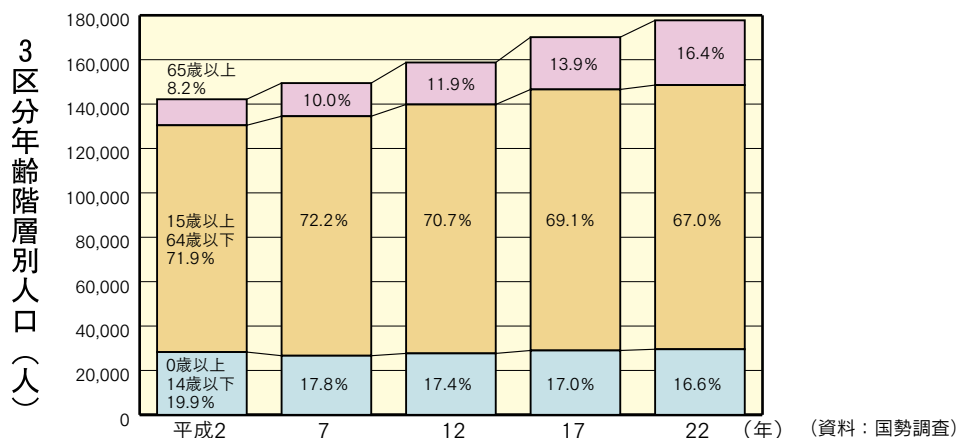


1 人 口

人口は、平成26年4月1日現在184,074人（住民基本台帳）で最近10年間で約1万6千人増加しています。

年齢階層別人口構成比率を見ると、年少人口（0～14歳）及び生産人口（15～64歳）の割合が減少し、65歳以上の老年人口の割合が増加しています。

■安城市における3階層年齢別人口及び構成比率



2 土地利用

土地利用状況は、田畑が44.1%、宅地が27.2%となっています。

田畑の面積は、平成16年から26年までの10年間に、全市面積の3.5%に相当する約3.0㎢（300ha）が減少しています。

市街化区域は、2,154haで市域の約25.0%に相当します。

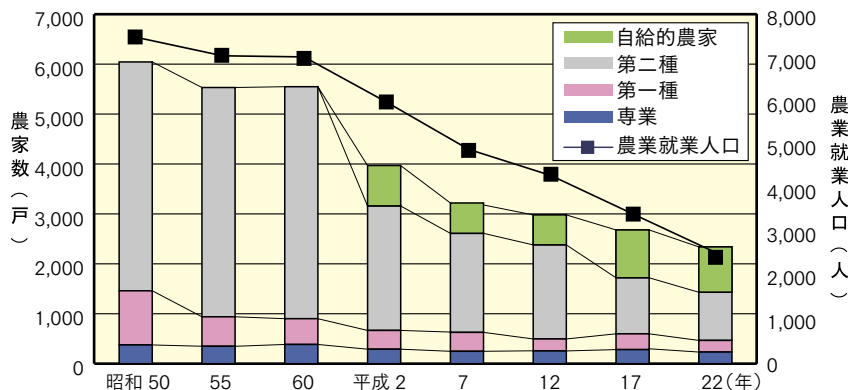
人口集中地区面積は、市域の約19.8%にあたる1,700haであり、人口は約67.1%を占めています。

3 農 業

農家数、農業就業人口ともに減少しており、全農家数を見ると、特に昭和60年以降の減少が大きく、経営形態別には第二種兼業農家の減が目立っています。

地域内の農業振興のためには、環境に配慮した土地基盤の整備とともにスプロール化の防止が重要です。

■農家数、農業就業人口の推移



4 各種測定結果

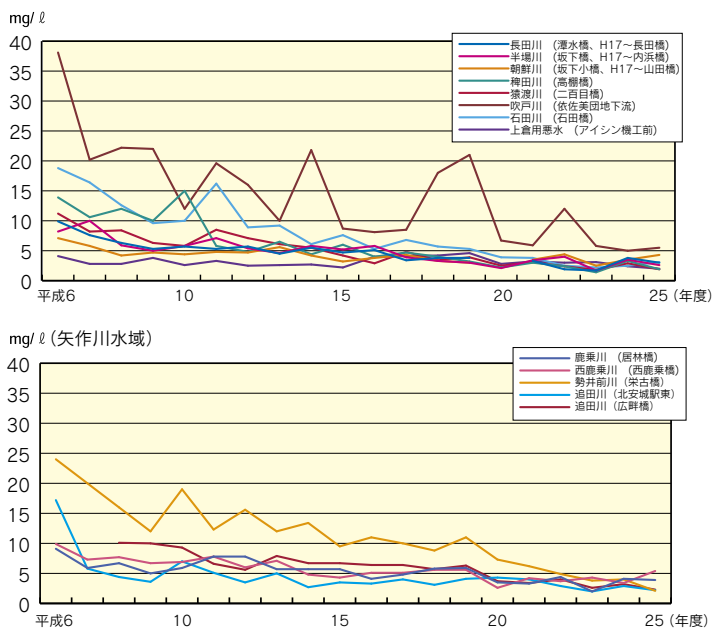
(1) 水質

平成25年度は、市内主要12河川1湖沼27地点で実施している水質調査において、「人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）」※に該当するカドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素及び総水銀の6項目について調査した結果、すべての調査地点で環境基準を達成しています。

「生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）」※が設定されている6河川16地点の水質汚濁状況については、各年の降雨量等によって上下することもあります。総測定回数での環境基準達成率は90.1%となっています。

また、愛知県下で唯一の天然湖沼である油ヶ淵の水質は、環境基準を達成しておらず、全国の湖沼でワースト14位（平成24年度）となっています。

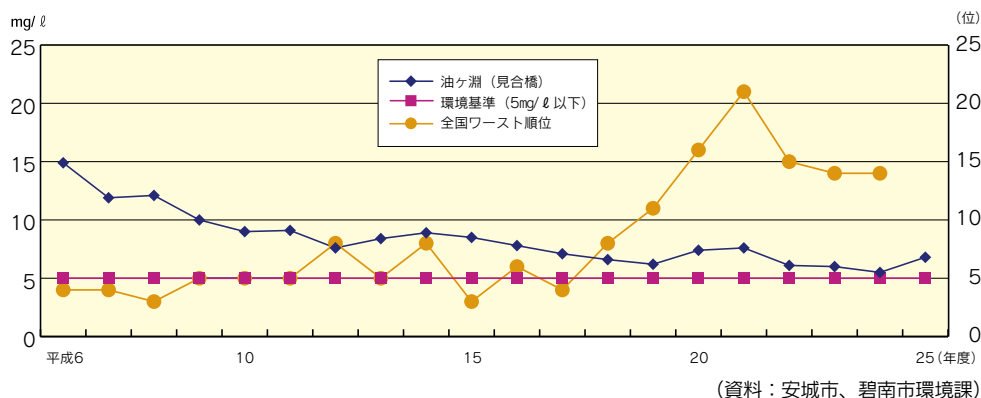
■各河川における水質(BOD75%値)の推移(過去20年)



■各河川・湖沼における水質の状況(平成25年度)



■油ヶ淵水質(COD75%値)の推移(過去20年)



(資料：安城市、碧南市環境課)

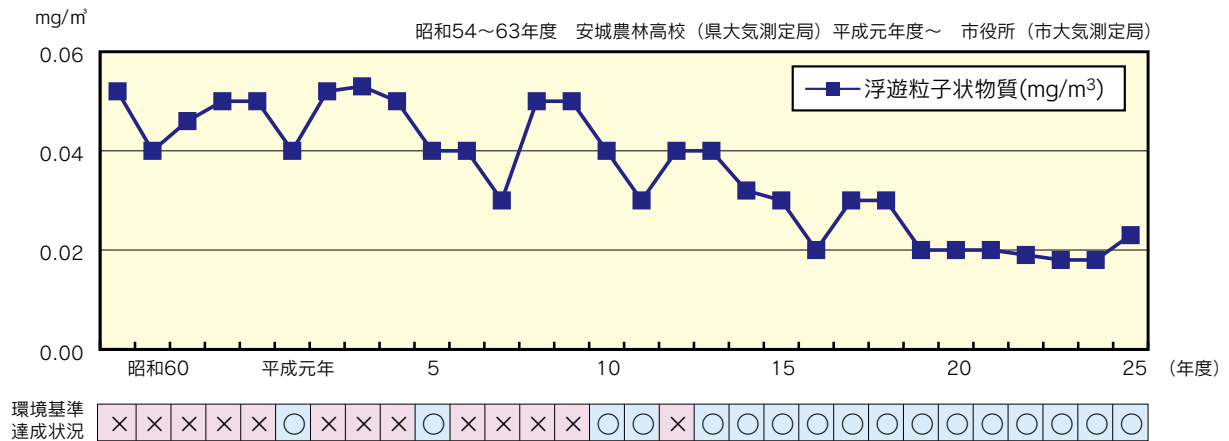
※「人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）」

有害物質に係る基準で、人の健康の観点から維持されることが望ましいとしてカドミウムや鉛等27項目について定められ、すべての河川等に適用される。

※「生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）」

水道、水産、工業、農業用水利用などの利用目的に応じた水域類型が設けられ、各々の水域ごとに基準が定められている。水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、浮遊物質（SS）、溶存酸素量（DO）、大腸菌群数の5項目。

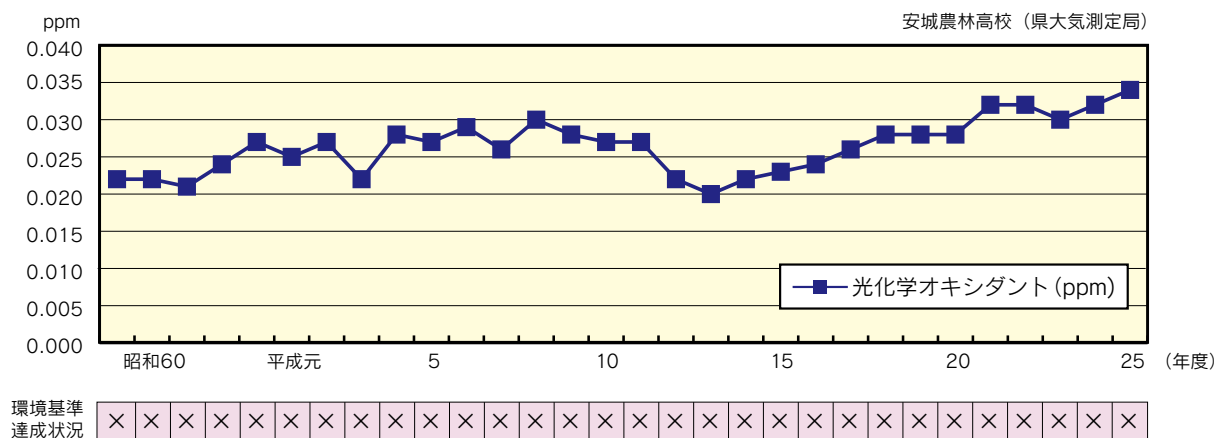
■浮遊粒子状物質(SPM) (年平均値)の推移(過去30年)



※年平均値は目安の値であり、環境基準とは異なります。

大気中に浮遊する粒径0.01mm以下のものをいい、高濃度で、呼吸器に悪影響を及ぼす。工場などから排出されるばいじんや、破碎・選別・堆積によって発生する粉じん、ディーゼル車の黒煙など直接放出されたり、硫酸化物や窒素酸化物等が粒子状に変化して生成される。

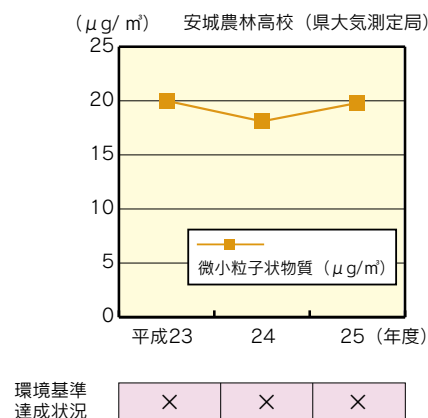
■光化学オキシダント(Ox)(年平均値)の推移(過去30年)



※年平均値は目安の値であり、環境基準とは異なります。

窒素酸化物や炭化水素などが太陽光の紫外線を受けて光化学反応を起こすことにより生成する。高濃度の場合、人の目やのどへの刺激や呼吸器、また、農作物にも影響を及ぼす。晴れた日中に多く発生し、夏期を中心に光化学スモッグを引き起こす。

■微小粒子状物質(PM2.5) (年平均値)の推移



(5) 雨水 pH、悪臭、ダイオキシン類など

雨水の pH は大気中に含まれる二酸化炭素との平衡により、25℃・1気圧の条件下では pH 5.6 程度の弱酸性を示すといわれ、pH 5.6 以下の雨を一般的に酸性雨と呼んでいます。平成25年度に市内で採取した雨水の pH 測定値は年12回平均で5.0となっています。

平成25年度の悪臭苦情15件の内訳は、工場・事業場、飲食店などとなっています。

また、市内3地点（事業場（製造業））において実施した臭気指数調査の結果は規制基準内でした。

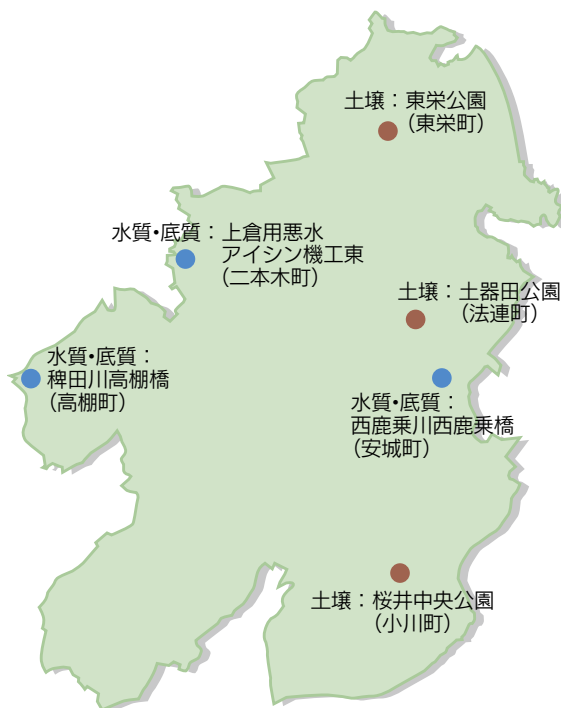
土壤汚染及び地盤沈下に関しては、環境調査からは特に問題は見られません。

平成25年度の一般環境中におけるダイオキシン類※調査では、環境基準の設定されている水質・土壌について、いずれも環境基準内となっています。

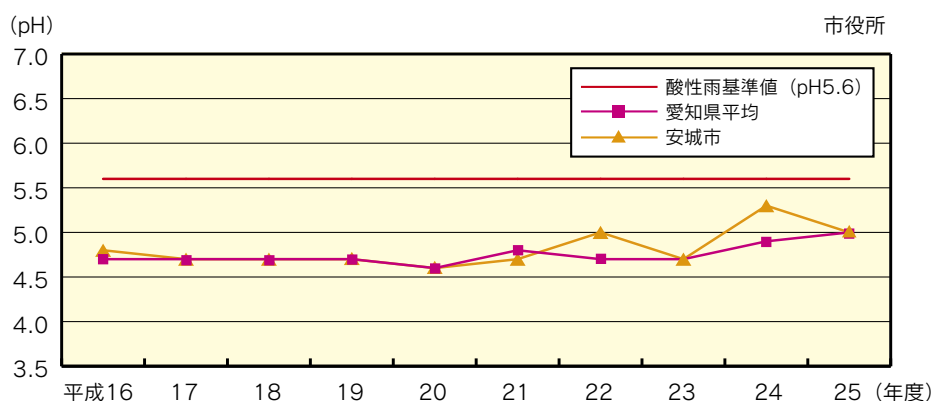
安城市環境クリーンセンターのばい煙中におけるダイオキシン類※調査では、厚生労働省ガイドライン値を達成しています。

市民の健康の保護と生活環境の保全を図ることを目的として、41企業47工場・事業場と公害防止協定※を締結しています。

■市内のダイオキシン類の調査地点



■酸性雨調査結果(年平均値)の推移(過去10年)



■市内におけるダイオキシン類の調査結果(平成25年度)

調査区分		環境基準	上倉用悪水 (アイシン機工東)	西鹿乗川 (西鹿乗橋)	稗田川 (高棚橋)
水環境	水質 (pg-TEQ/l)	1 以下	0.70	0.12	0.22
	底質 (pg-TEQ/g)	150 以下	3.0	4.3	0.89
土壌環境 (pg-TEQ/g)		環境基準	東栄公園 (東栄町)	土器田公園 (法蓮町)	桜井中央公園 (小川町)
		1,000 以下	0.45	0.71	0.012

1pg (ピコグラム) = 1 兆分の 1g

調査区分	調査地点	環境基準	春季	夏季	秋季	冬季	平均
大気環境 (pg-TEQ/m³)	安城農林高校	0.6 以下	0.020	0.0110	0.027	0.032	0.023

(資料：愛知県環境部)

■安城市環境クリーンセンター(市の管理するごみ焼却施設)のダイオキシン類調査結果(平成25年度)

○安城市環境クリーンセンターの概要

運転開始日：平成 9 年 3 月 20 日 焼却能力：240 トン/日 (120 トン/日 × 2 基)

調査区分	法規制値※	測定値	
大気環境 (ng-TEQ/m³) 安城市環境クリーンセンター	1 (平成 12 年 1 月 15 日以降の新設炉は 0.1)	1 号炉	0.0000045
		2 号炉	0.0000041

1ng (ナノグラム) = 10 億分の 1g

※**ダイオキシン類**：ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン (PCDD) とポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) 及びコプラナー PCB を総称してダイオキシン類と呼びます。ダイオキシン類の毒性は、一般毒性、発がん性、生殖毒性、免疫毒性など多岐にわたっています。

※**公害防止協定**：地方公共団体が、企業に対し、大気等の公害防止及び環境保全のための条件について、企業自らが社会的責任を果たしてもらうため協議し相互の合意形成により取り決めたもの。

※**法規制値**：ダイオキシン類対策特別措置法施行規則の大気排出基準

5 ごみ排出量とリサイクル率

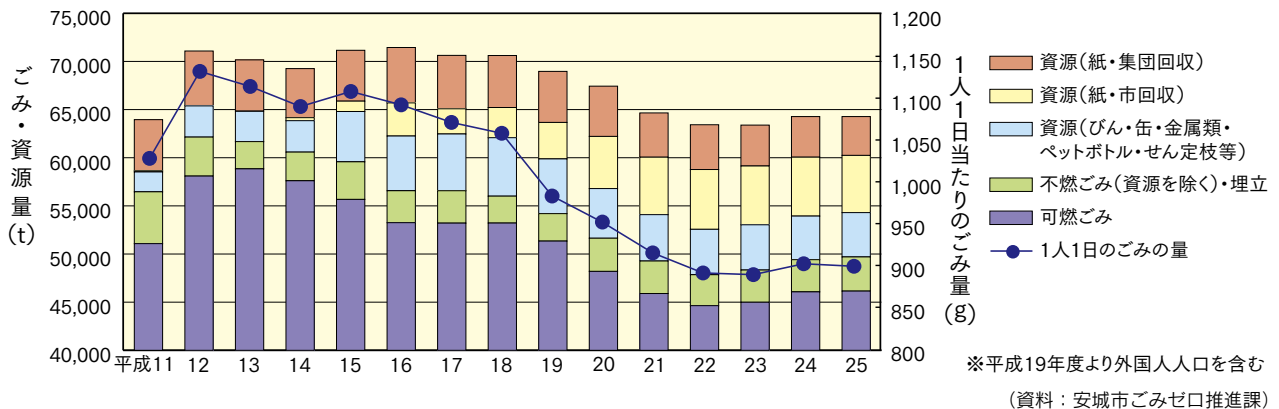
平成25年度の市で収集及び処理したごみ（一般廃棄物）の排出量は60,241トンで市民1人1日当たりの量は899グラムでした。平成24年度と比べると、市民1人1日当たりのごみの量はわずかながら減少しましたが、ごみの総量は人口増に伴い増加しています。

リサイクル率は計画当初、12～15％程度で推移していましたが、平成16年度に焼却灰の溶融スラグ化とリサイクルステーションの拡大により、22.9％まで上昇しました。

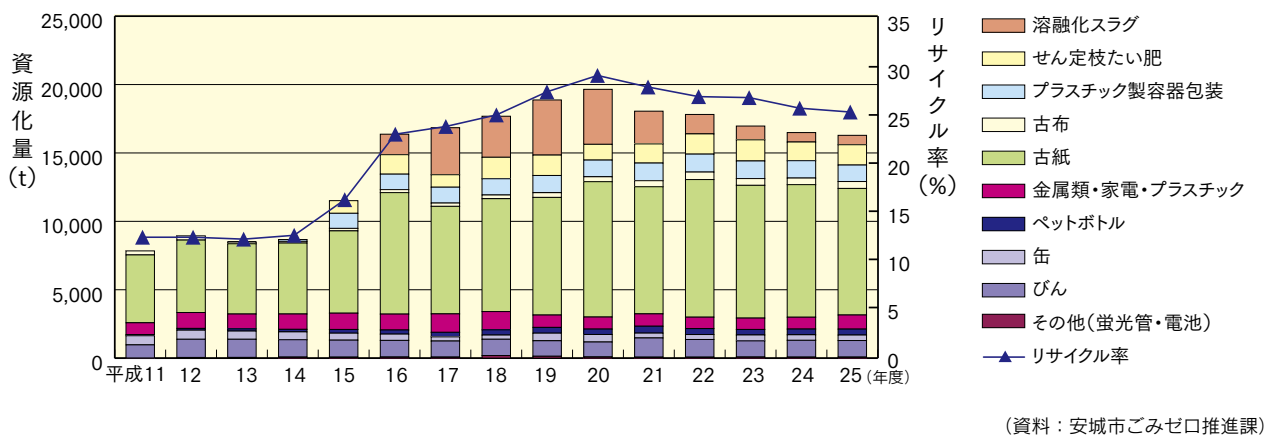
平成20年度から開始した古紙分別収集では、平成21年4月より古着の回収も収集品目に加え順調な伸びを見せていましたが、ごみ総量の増加の影響と焼却灰の溶融スラグ化量を減らしたため、平成25年度の資源ごみとしての収集量は16,293トン、リサイクル率は25.3％と平成20年度をピークに減少傾向にあります。

一方ごみ処理経費は29億1千万円余となり、市民1人当たりの金額で換算すると約15,900円となります。

■ごみ（一般廃棄物）処理量の推移



■資源化量とリサイクル率の推移



6 温室効果ガス排出量

本市の温室効果ガスの排出量は、平成2年度の1,478千t-CO₂/年から、平成17年度の1,754千t-CO₂/年へと、この間に18.7%増加しています。

市民1人あたりの二酸化炭素排出量を見ると、平成2年度の10,437kg-CO₂/年から、平成17年度の10,213kg-CO₂/年へと、2.1%減少していますが、民生家庭部門では27.2%増加しています。

二酸化炭素排出量を部門別に見ると、平成17年度では産業部門が57.7%と非常に大きくなっています。ただし、比率は平成2年度の64.5%から小さくなっており、他の部門での増加が大きいことがわかります。

■安城市における二酸化炭素排出割合

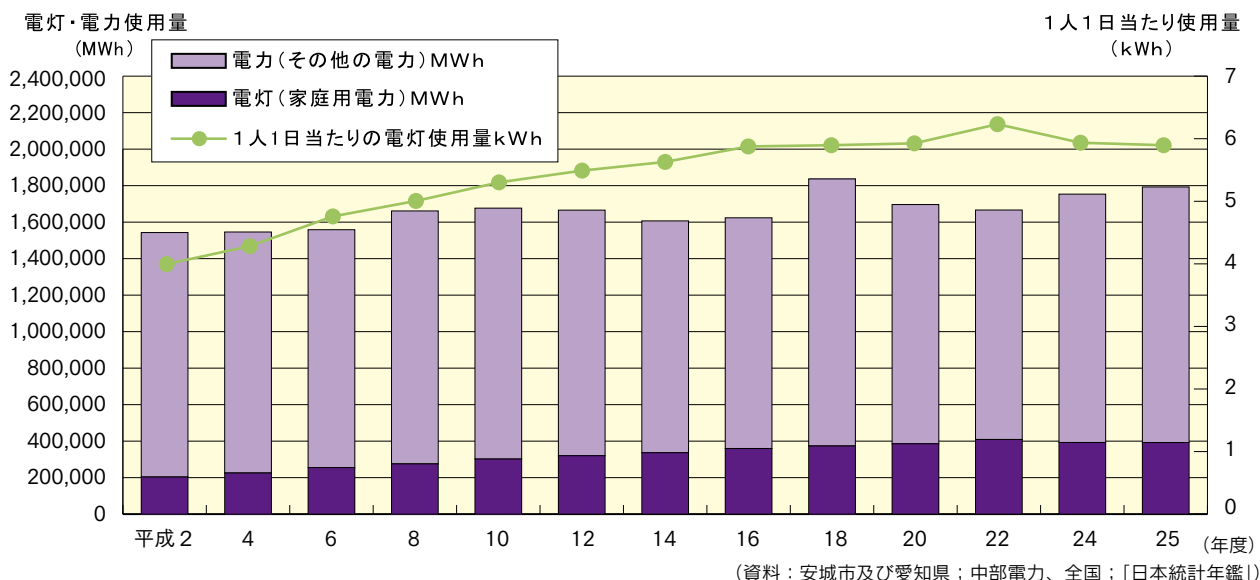
	平成2年度 (1990年)	平成17年度 (2005年)		平成32年度推計 (2020年)	
	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	対平成2年比	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	対平成2年比
産業部門	950,855	1,013,000	106.5%	1,014,030	106.6%
民生家庭部門	119,418	184,117	154.2%	201,365	168.6%
民生業務部門	177,573	236,926	133.4%	268,628	151.3%
運輸部門	204,747	266,260	130.0%	283,816	138.6%
廃棄物部門	25,798	54,452	211.1%	56,062	217.3%
計	1,478,391	1,754,755	118.7%	1,823,901	123.4%
市民1人あたりの排出量(全体)	10,437kg-CO ₂	10,213kg-CO ₂	97.9%	9,753kg-CO ₂	93.4%
市民1人あたりの排出量(民生家庭部門)	843kg-CO ₂	1,072kg-CO ₂	127.2%	1,077kg-CO ₂	127.8%

7 エネルギー消費量

近年、市内の電力（家庭用電力以外の電力）使用量は増加していますが、電灯（家庭用電力）使用量は減少傾向にあります。平成25年度では、平成2年度に比べ16.2%増加しています。また、市民1人1日当たりの電灯使用量については、平成2年度に比べ48.7%増加していますが、平成23年度から減少しています。

都市ガスに関しては、平成2年度の年間1,151万m³から平成25年度の9,708万m³へ約8.4倍と著しく増加していますが、平成23年度からは減少傾向にあります。

■市内の電灯（家庭用電力）・電力（その他の電力）使用量の推移



めざす都市像の 実現に向けた取組み

めざす都市像「市民とともに育む環境首都・安城」を実現するために、平成 25 年度において実施した主な取組みを紹介します。



1. 都市基盤・交通

都市基盤・交通

(1) 都市と自然

①豊かな緑の確保

②健全な水環境の確保

③多様な生態系の保全

(2) 都市・交通システム

①自動車利用からの転換

②環境負荷の少ない都市づくり

《環境指標の進捗状況》

環境指標 1

指標名	現状値（平成 21 年度）	実績値（平成 25 年度）	目標値（平成 27 年度）
樹高が 3 m 以上になる木の本数	131,000 本	138,329 本	140,000 本

環境指標 2

指標名	参考値（平成 14 年度）	実績値（平成 25 年度）	目標値（平成 27 年度）
セミのぬけがらの確認数	14,353 個	13,499 個	20,000 個

環境指標 3

指標名	現状値（平成 21 年度）	実績値（平成 24 年度）	目標値（平成 27 年度）
公共交通機関についての満足度	56.1%	56.8%	60.0%

(1) 都市と自然

① 豊かな緑の確保

植樹祭の開催・緑化木の配布

公園への愛着と植樹を通して樹木の大切さを感じてもらうため、植樹祭を実施しています。平成25年度は、荒曽根公園と桜井南公園で植樹祭を開催しました。そのほか、各家庭での緑化を推進するため、柿田公園において、ブルーベリーとオリーブ、コデマリの苗木を配布しました。



植樹祭



緑化木配布

■植樹祭 荒曽根公園（平成26年3月9日） 159人参加

桜井南公園（平成26年3月1日） 172人参加

■緑化木の配布 柿田公園（平成25年4月29日）

ブルーベリー200本、オリーブ、コデマリ各100本配布

ガーデニング・みどりのカーテン・オープンガーデンコンテスト

花や緑があふれる街をつくるため、ガーデニング・みどりのカーテン・オープンガーデンコンテストを実施しました。ガーデニング部門32件、みどりのカーテン部門22件、オープンガーデン部門11件の応募がありました。



ガーデニング部門優秀作品



みどりのカーテン部門優秀作品



オープンガーデン部門優秀作品

生垣等設置奨励補助金制度

住宅または店舗の生垣設置や駐車場緑化に対し、補助金を交付しました。

● 生垣設置

	補助限度額
既存のブロック塀などを取り壊して設置	80,000 円
新しく生垣を設置（市街化区域）	60,000 円
新しく生垣を設置（市街化調整区域）	40,000 円

● 駐車場緑化

	補助限度額
市街化区域	60,000 円
市街化調整区域	40,000 円

● 生垣等設置奨励補助金制度実績（単位：件）

区分／年度	24	25
生垣設置	4	1
駐車場緑化	1	0

② 健全な水環境の確保

矢作川水源の森分収育林事業

安城市と根羽村は平成3年に、森林法に基づいた森林整備協定を締結して以来、平成33年までの30年間に渡り、矢作川の水源にあたる根羽村の森林を共同経営していきます。6月には、市民に森林の役割や水の大切さなどの認識を高めていただくため、根羽村で行われた植樹祭に参加しました。



矢作川水源の森案内看板



植樹祭

水田貯留

水害に強い快適なまちづくりを推進するため、「雨を速やかに流す」という考え方から、「雨を貯める、浸透させる」という考え方へ発想転換を図っています。その取組みの一つとして、水田貯留事業を進めています。水田貯留は、水田に雨をもう少しだけ余分に貯めることで、洪水被害を軽減させることができます。平成25年度は、桜井西町雨水幹線の上流の桜井町区域及び大海古川の上流の和泉町区域で、効率的に水田貯留をするための場所を選定しました。また、志茂川流域の小川町地内では、平成24年度に引き続き流量調整柵を設置しました。



流量調整柵

雨水貯留浸透施設設置補助金制度

雨水を貯めたり、地下へ浸透させたりすることができる雨水貯留浸透施設の設置に対し補助金を交付しました。

●施設の種類

土木課分：市販雨水貯留槽（雨水タンク）、浸透マス、浸透管、浸透側溝、浸透性舗装
下水道管理課分：既存浄化槽転用雨水貯留槽

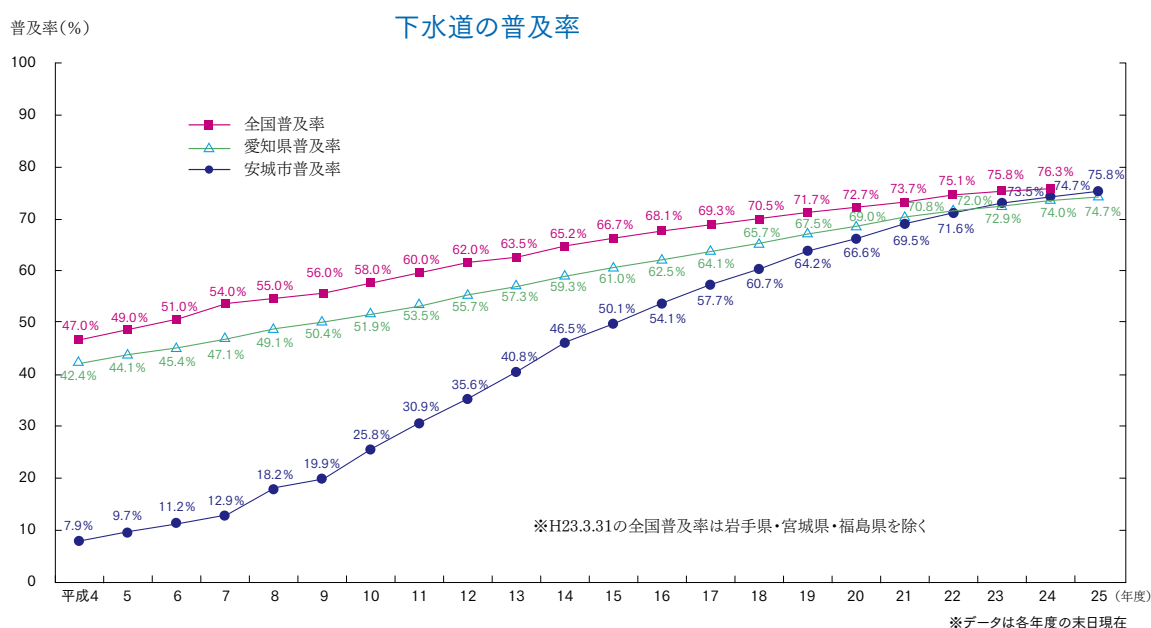
年度	交付件数	
	土木課分	下水道管理課分
平成22年度	34件	21件
平成23年度	77件	12件
平成24年度	63件	13件
平成25年度	41件	15件

下水道整備と接続の促進

市内の公共下水道は、愛知県が事業主体である「矢作川・境川流域下水道」に接続する流域関連公共下水道として発足し、処理区は3つ（矢作川、境川、衣浦東部処理区）に分かれています。

公共下水道は、平成5年4月の矢作川処理区の供用開始から、平成8年度には境川処理区、平成10年度には衣浦東部処理区の供用を開始し、順次供用地区を拡大しています。

平成25年度は3処理区であらたに41haの区域で下水道が使えるようになりました。平成26年3月31日現在、行政人口184,074人に対し、処理区域内人口は139,478人となり、人口普及率75.8%、水洗化人口は122,279人と着実に増加しています。



浄化槽設置補助金制度

生活排水による水質汚濁の防止を図るため、高度処理型合併処理浄化槽の設置に対し、補助金を交付しました。

平成25年度実績

区分	補助金額	補助基数
5人槽	255,000円	64基
6人槽～7人槽	285,000円	49基
8人槽～10人槽	345,000円	13基
11人槽～	600,000円	1基
合計		127基

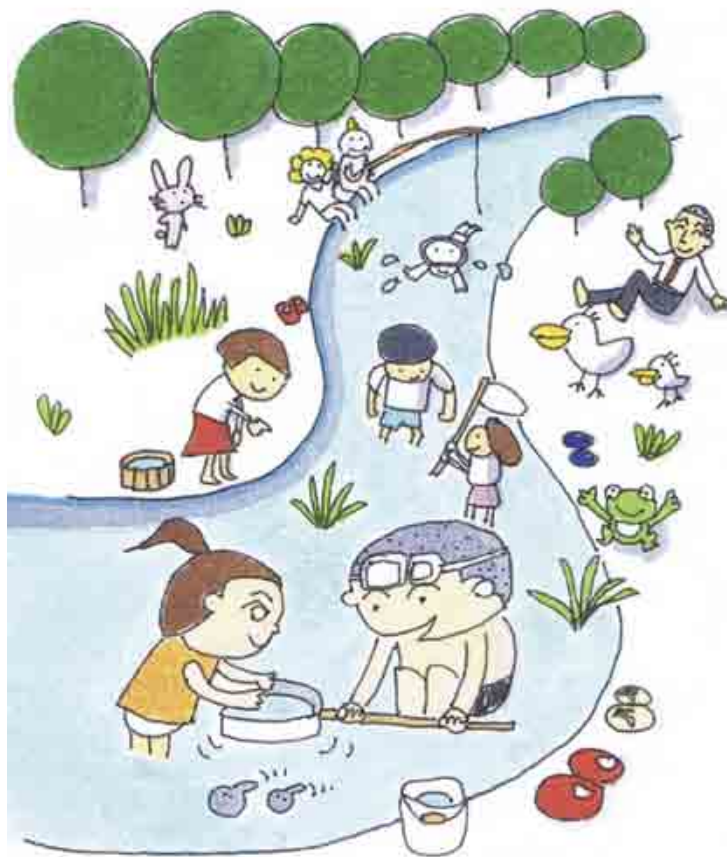
多自然川づくり

河川は、多くの生物の生息空間です。治水上の安全性を確保しながら、生物の生息環境をできるだけ変えないような、良好な河川環境の保全が必要です。

平成25年度は、安城市東部を流れる郷東川において、約97mの区間の多自然川づくりを行いました。施工にあたっては、河川の多様な環境を保全し、復元しやすくするため、堤防の法勾配を緩やかにして芝生で覆っています。水際の護岸については、環境クリーンセンターの焼却灰から作られた溶融スラグを使用することで、空隙を確保し、生物の生息・生育場所や植生基盤となるように配慮しました。



郷東川



③ 多様な生態系の保全

セミのぬけがら調査

いきものに対する関心を高め、市内の自然を考える手がかりとするため、セミのぬけがらの数を調べる調査を実施しました。7月1日から8月31日までの間に、秋葉いこいの広場環境学習センターに、せみのぬけがらを持参してもらいました。最終的に13,499個ものぬけがらが集まりました。平成14年度に実施した調査と比較すると、クマゼミの割合が大幅に増えました。クマゼミが増えた理由として、「地球温暖化や都市部で顕著なヒートアイランド現象」、「ケヤキなどのクマゼミが好む樹木の増加」、「都市の踏み固められた地面でも、力強く穴を掘ることができる」などの説があり、市内でこうした環境条件が進展していると考えられます。

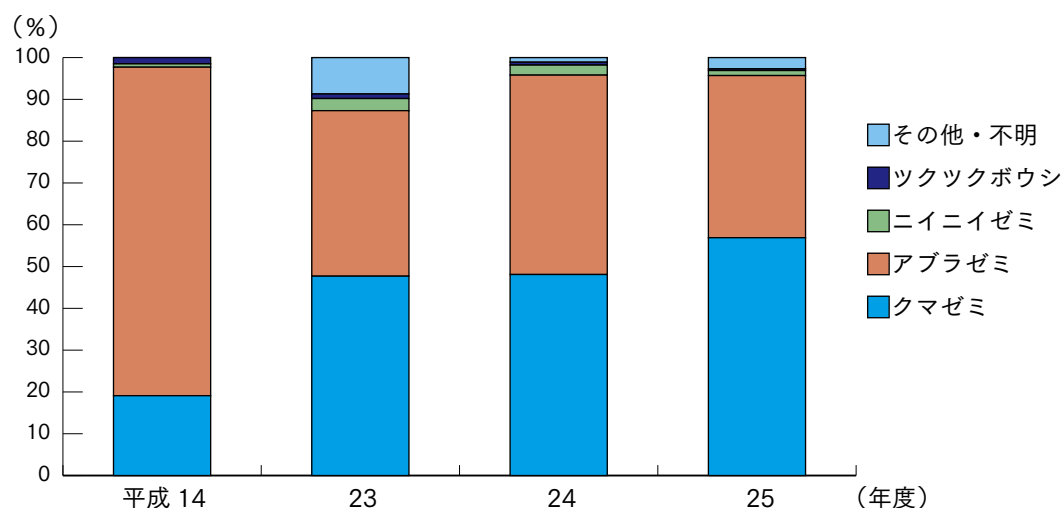


セミのぬけがら

セミのぬけがら調査

	平成 14 年度(参考)		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
種類	数	割合 (%)	数	割合 (%)	数	割合 (%)	数	割合 (%)
クマゼミ	2,736	19.1	5,809	47.7	6,970	48.1	7,687	56.9
アブラゼミ	11,288	78.6	4,826	39.6	6,907	47.7	5,237	38.8
ニイニイゼミ	121	0.8	354	2.9	341	2.4	157	1.2
ツクツクボウシ	208	1.5	136	1.1	108	0.7	50	0.4
その他・不明			1,062	8.7	152	1.1	368	2.7
合 計	14,353	100.0	12,187	100.0	14,478	100.0	13,499	100.0

セミのぬけがら調査



(2) 都市・交通システム

① 自動車利用からの転換

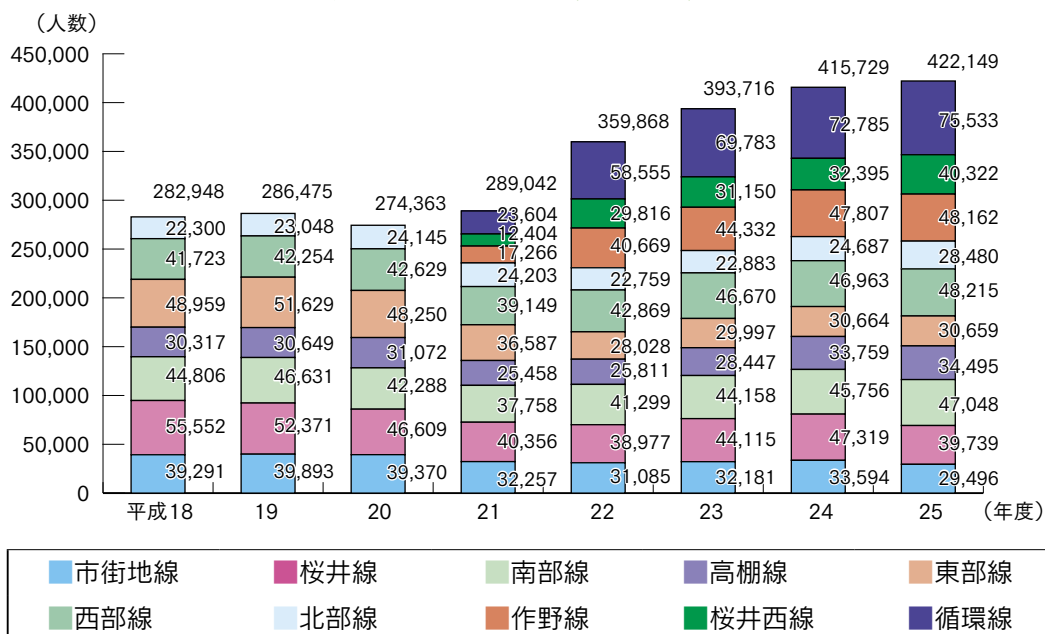
あんくるバスの運行

誰もが、安全・円滑に移動でき利用しやすい交通手段の確保と、自動車利用からの転換による温室効果ガスの削減を図るため、あんくるバスの運行を行っています。

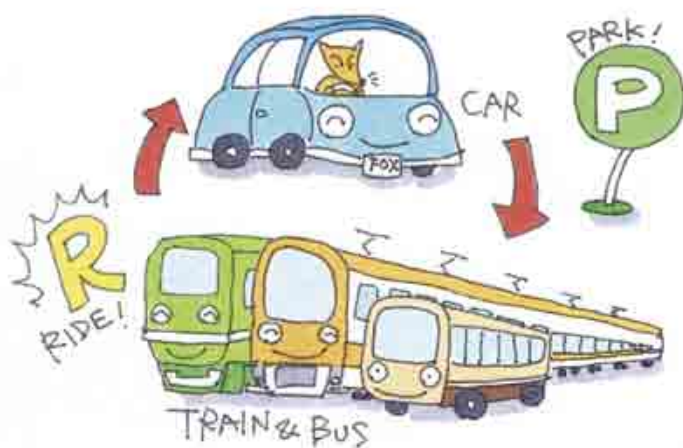
平成25年度は、利用促進についての啓発を引き続き行ったことや、年末年始（12月29日～1月3日）における運行などを行ったため、利用者の増加が見られました。

また、市内の公共交通不便地域解消と新たな移動手段の確保の検証を目的として、平成24年11月から、あんくるバスに接続する予約式乗合タクシーの試験運行を、市内3地区で実施しています。

あんくるバスの利用状況（乗車人数）



南吉仕様にラッピングされたあんくるバス（市街地線）



自転車購入費補助金制度

自転車の安全な利用と、自動車利用からの転換による温室効果ガスの削減を図るため、一定の条件を満たした場合に、購入費の一部を補助しています。平成25年度は、87件の補助申請がありました。

●補助金額

補助対象経費の3分の1の額で幼児2人同乗用は2万円、シニア向け及び通勤用は1万5千円を限度（100円未満切捨て）

補助の対象となる自転車と件数

種 類	件 数
幼児2人同乗用自転車	普通自転車 62件
	電動アシスト自転車 12件
シニア向け自転車	普通自転車 2件
	電動アシスト自転車 1件
通勤用自転車 (自動車通勤からの 変更の場合)	普通自転車 10件
	電動アシスト自転車 0件
合 計	87件

レンタサイクル

平成26年1月から北部公民館にサイクルポートを新設し、市内11箇所のサイクルポートで自転車の貸し出しを行っています。



幼児2人同乗用自転車



自転車安全利用講習会



北部公民館レンタサイクル

レンタサイクル利用件数の推移（単位：件）

サイクルポート / 年度 ※（ ）内は設置台数	平成22	平成23	平成24	平成25
安城駅（17台）	4,209	4,020	3,699	4,014
デンパーク（4台）	68	66	66	57
桜井公民館（4台）	113	94	127	187
安城市役所（5台）	223	231	293	241
中部公民館（5台）	215	359	236	257
堀内公園（5台）	68	95	80	76
新安城駅（5台）	515	725	919	733
三河安城駅（5台）	343	507	519	437
南安城駅（5台）	1,143	996	1,223	1,100
水のかんきょう学習館（3台）	—	45	36	60
北部公民館（3台）	—	—	—	44
クリエーションプラザ（2台）	55	29	13	—
合計	6,952	7,167	7,211	7,206

2. 農業・産業

農業・産業

(1) 農業

① 農と環境との調和

(2) 産業活動

① 事業者の取組み支援

② 公害の防止と廃棄物の減量

《環境指標の進捗状況》

環境指標4

指標名	現状値（平成 20 年度）	実績値（平成 24 年度）	目標値（平成 27 年度）
食料自給率 （カロリーベース）	33.4%	36.3%	35.2%

※カロリーベース 食糧の熱量を用いて計算したもの

(1) 農 業

① 農と環境との調和

アグリライフ支援センター

市民が「農」を身近に感じ、「農」を楽しんでいただくため、「安城アグリライフ構想」を推進しています。その構想を総合的に推進し、「農」ある暮らしを実践する人材育成の場として、アグリライフ支援センターを運営しています。

年2回の野菜づくり入門コースと各種体験・スポット講座などを実施しました。

●野菜づくり入門コース

- ・第8期生（春夏野菜づくり）…………… 30人
- ・第9期生（秋冬野菜づくり）…………… 30人

●体験・スポット講座

【体験農場】

- ・とうもろこし収穫体験…………… 40人

【スポット講座】

- ・ミニトマトプランター植付体験… 22組68人
- ・サツマイモ植付・収穫体験…………… 30組95人
- ・プランター野菜栽培体験…………… 9組25人
- ・秋ジャガ植付・収穫体験…………… 20組61人
- ・親子プランターいちご栽培体験… 26組75人



野菜づくり入門コース



秋ジャガ植付・収穫体験

ふれあい田んぼアート支援

田んぼにさまざまな色の稲を植えて、絵を描くイベント「ふれあい田んぼアート」を支援しました。農業体験を通じて農業の大切さを感じてもらうことで、生物多様性の場でもある農地の保全につながります。



ふれあい田んぼアート



地産地消の啓発

「安城サンクスフェスティバル」などのイベントで、安城産の米を使ったポン菓子を無料配布し、地産地消や旬産旬消を啓発をしました。



サンクスフェスティバル

まちなか産直市の支援

地産地消の推進と中心市街地の活性化のため、農村生活アドバイザーのみなさんが中心となり開催している「まちなか産直市」を支援しました。



まちなか産直市



(2) 産業活動

① 事業者の取組み支援

ISO14001更新審査の支援

ISO規格の継続と中小企業の振興のため、ISO規格の更新を行う中小企業に更新審査の費用の一部を補助しました。そのなかでも、環境に配慮した事業活動を行うための基準を規格したISO14001の更新に対し、25件の補助を行いました。

② 公害の防止と廃棄物の減量

環境保全講習会の開催

市内企業を対象に環境保全講習会を開催し、環境情報の共有を図りました。環境関連の法令の概要や改正内容などを説明しました。



環境保全講習会

事業系一般廃棄物の分別指導

環境クリーンセンターに持ち込まれる事業系一般廃棄物の搬入物検査を行い、分別徹底によるごみの減量化を図りました。



分別指導

3. ライフスタイル

ライフスタイル

(1) 暮らしの省エネルギー

①家庭における省エネルギー行動の促進

②移動における省エネルギー行動の促進

③建築物の省エネルギー化の促進

④新エネルギーの利用

(2) 家庭のごみ

①ごみ減量の推進

②適正な廃棄物処理

(3) 健全な生活環境

①良好な生活環境の形成

②生活型公害の防止

(4) 環境意識と協働

①環境学習の推進

②環境行動力の向上

《環境指標の進捗状況》

環境指標5

指標名	現状値（平成 21 年度）	実績値（平成 25 年度）	目標値（平成 27 年度）
太陽光発電システムの普及世帯割合	1.6%	4.9%	6.0%

環境指標6

指標名	現状値（平成 21 年度）	実績値（平成 25 年度）	目標値（平成 27 年度）
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量 （燃やせるごみ、燃やせないごみ、 粗大ごみの合計）	508 グラム	499 グラム	428 グラム

(1) 暮らしの省エネルギー

① 家庭における省エネルギー行動の促進

e・co ポ (あんじょう E ～ CO とプロジェクト)

e・co ポ (エコポ) とは、安城市版エコポイント制度「あんじょう E ～ CO とプロジェクト」の愛称です。各家庭の電気、ガス、水道の使用料を前年度より削減することや、環境イベントに参加することにより、エコポイントが貯まります。そのポイントに応じて、参加賞が貰えたり、景品が当たる抽選に参加できたりする制度です。136個の景品があり、3,695ポイントが発行されました。

防犯灯設置補助金制度

LEDの防犯灯を町内会が設置することに対し、補助金を交付しました。

防犯灯設置補助金の実績(単位:件)

区分 / 年度	補助金額	24	25
電柱等に設置	37,000 円	371	385
独立柱を設置	65,000 円	39	28

② 移動における省エネルギー行動の促進

庁用自動車における低公害車の導入

安城市役所では、温室効果ガスの排出削減と、地域経済の活性化を図るため、用途により更新時に、より環境性能にすぐれた新車を購入するようにしています。

庁用自動車の種類と台数

	平成 24 年度末	平成 25 年度末	増減
一般車	137	134	-3
うち低公害車	93	99	6
うちHV	14	13	-1
うちPHV	2	2	0
作業車	69	67	-2
うち低公害車	16	44	28
バス	4	4	0
合 計	210	205	-5
うち低公害車	109	143	34
うちHV	14	13	-1
うちPHV	2	2	0

低公害車の種類：燃料電池自動車、電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、ハイブリッド自動車、特定LPG自動車、特定ディーゼル自動車、低排出ガス車かつ低燃費車、その他知事が定める自動車



③ 建築物の省エネルギー化の促進

エコタウン桜井

平成22年度に「エコタウン桜井」を整備し、安城桜井駅周辺特定土地地区画整理事業の仮移転住宅として活用するとともに、環境配慮型の住宅仕様や設備の普及啓発を図りました。

雨水タンク、壁面緑化、省エネ型エアコンなどの共通設備のほか、太陽光発電や次世代ソーラーシステムなど、住宅ごとに工夫をこらした仕様となっています。



● 「エコタウン桜井」入居者へのアンケート

Q 1 住み心地はどうでしたか？

A 1 夏場は、風が心地よくエアコンいらずでした。冬は暖かく、朝少しか暖房すれば一日中快適に過ごせました。(以前は27～28度設定→23度設定で十分。) 雨水タンクも活用しました。

Q 2 新しく建てる家にはどんな環境設備や環境への工夫を取り入れたいと考えていますか？

A 2 断熱材の使用や雨水タンク。また、ペアガラスは閉めると外の音が聞こえなくなるので良いと思いました。 また、壁面緑化や中高木の植樹も考えています。

Q 3 以前の家と比べて光熱費はどうになりましたか？

A 3 オール電化により電気代は増えましたが、ガス代が必要なくなったので、全体で光熱費は安くなったと思います。

④ 新エネルギーの利用

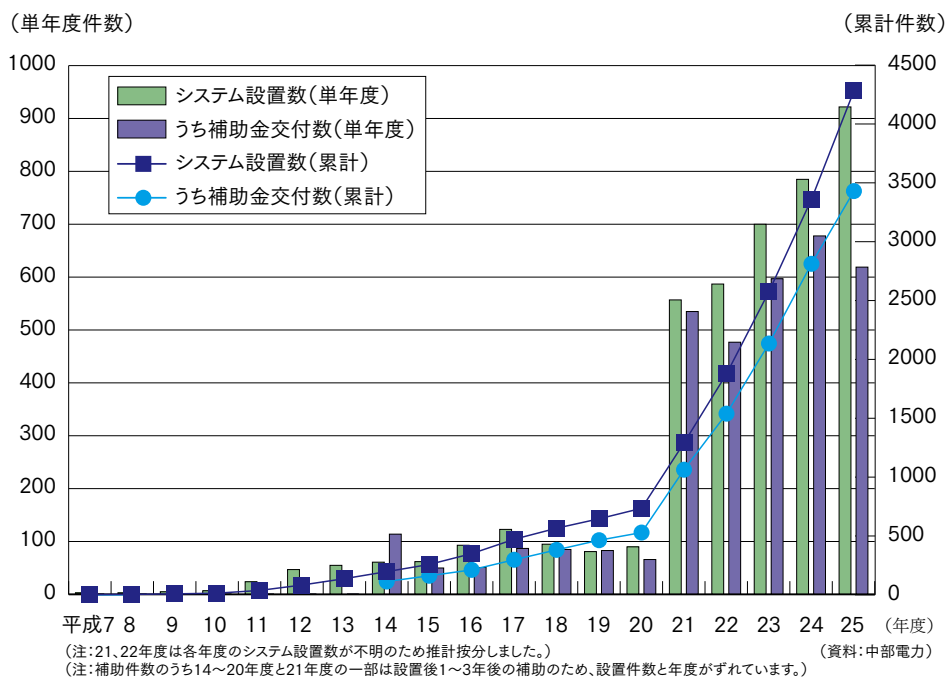
太陽光・太陽熱利用機器補助金制度

化石燃料の利用を抑え、地球温暖化の防止を推進するため、住宅用の太陽光発電システムや太陽熱高度利用システム、太陽熱温水器の設置に対し、補助金を交付しました。

● 太陽光発電システム設置費補助金制度

補助金額：1 kWあたり4万円（上限4 kW）

■ 太陽光発電システム設置件数と補助件数の推移



● 太陽熱利用機器設置費補助金制度

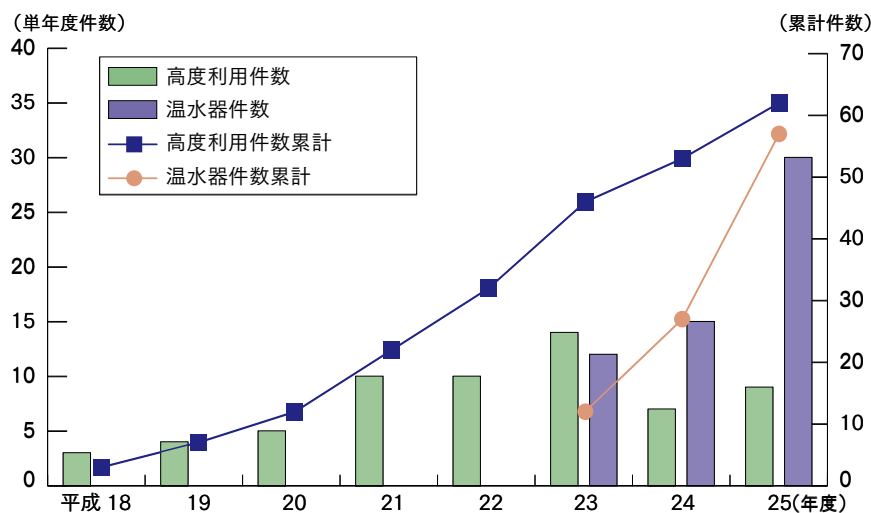
・ 太陽熱高度利用システム

補助金額：1 m²あたり1万3千円（上限8 m²）

・ 太陽熱温水器

補助金額：1 m²あたり1万円（上限8 m²）

■ 太陽熱高度利用システム・温水器設置補助件数の推移



公共施設への新エネルギーの導入

新エネルギーシステムの普及促進を図るとともに、子どもに対する環境教育の一つとして、小学校をはじめとした市施設への太陽光発電設備の設置を進めました。平成25年度は、市役所本庁舎及び、安城北、明祥、桜井、東山、安祥の5中学校にそれぞれ20kWの太陽光発電設備を設置しました。これにより小中学校への設置は完了しました。



市役所本庁舎



東山中学校



(2) 家庭のごみ

① ごみ減量の推進

生ごみ処理機器購入補助金制度

家庭の台所等から排出される生ごみの自家処理を図り、ごみの減量化や再資源化を普及推進するため、生ごみ処理機器の購入に対し、補助金を交付しました。

●補助実績（平成 25 年度）補助金額：購入額の3分の2

処理機器名		補助限度額	補助基数
乾燥式生ごみ処理機		45,000 円	119 基
バイオ式生ごみ処理機		45,000 円	74 基
たい肥化容器	コンポスト	7,000 円	58 基
	密閉バケツ	7,000 円	20 基
減量容器		7,000 円	1 基



乾燥式生ごみ処理機



バイオ式生ごみ処理機



密閉バケツ



コンポスト



減量容器

リサイクルステーション

ごみ減量とリサイクルの推進のため、古紙、古着、ペットボトル、乾電池、蛍光灯などを常時回収する場所として、市内5か所のリサイクルステーションを設置しています。



三河安城リサイクルステーション

エコセンターあんじょう

御幸本町リサイクルステーションの移設に伴い、「エコセンターあんじょう」として、平成23年8月8日に開設しました。地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうくらし部会の管理により、従来のリサイクルステーションとしての機能だけでなく、環境学習イベントを開催するほか、リユースコーナーを設置しました。

エコらんど

平成26年1月25日に総合リサイクルステーション「エコらんど」を開設しました。従来のリサイクルステーションの回収品目にびん、かん、破碎困難ごみ、プラスチック製容器包装、家庭用電化製品（家電5品目を除く）、硬質プラスチック製品及び事業系古紙を加えました。



エコらんど

再生家具等の販売

粗大ごみなどのなかでリユース可能な家具等を修繕し入札販売や、食器、おもちゃ等の即売を、毎月第2日曜日にリサイクルプラザにて行いました。



再生家具

② 適正な廃棄物処理

地域クリーン推進員制度

ごみの分別、地域環境美化活動が効果的に行われるよう、各町内会に地域クリーン推進員リーダー・地域クリーン推進員が設置されています。市との共催による、各町内会でのごみの分別・減量説明会の開催や、不法投棄の監視や撤去、収集されなかったごみの処理など、適正なごみ処理のため、様々な協力をいただきました。また、地域クリーン推進員リーダー・地域クリーン推進員同士の情報交換や知識の向上を図るため、研修会を実施しました。



地域クリーン推進員研修会



空き缶などの資源ごみの持ち去り防止

平成23年4月1日から、「安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」により、ごみステーションに出された資源ごみ（缶、びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、古紙、牛乳パック、古着）を持ち去る行為を禁止しました。



啓発看板を取り付けたコンテナ

(3) 健全な生活環境

① 良好な生活環境の形成

アダプトプログラム制度

アダプトプログラム制度とは、市民が、道路や河川などの公共施設の「里親」となり、我が子のように愛情と責任をもって定期的に清掃などの美化活動を行う制度です。市では、アダプトプログラム登録者の支援として、清掃道具の無償貸与を行っています。平成25年度末現在、46の登録者が、市内各所を定期的に清掃するなど、環境美化活動を実施しています。



アダプトプログラム活動

② 生活型公害の防止

油ヶ淵浄化デー

毎年7月の第4日曜日を「油ヶ淵浄化デー」と定め、油ヶ淵周辺や油ヶ淵に流入する河川の清掃活動を行っています。平成25年度は、東端町内会や根崎町内会、明和小学校、地元企業などの協力により、油ヶ淵と長田川、半場川の清掃活動を実施し、約1,500人の参加がありました。



油ヶ淵浄化デー

生活排水対策モデル地区事業

家庭からの生活排水に対する意識を高め、浄化対策の実践を促すため、毎年1つの町内会を生活排水対策モデル地区として指定しています。平成25年度は、河野町内会を指定し、学習会の開催後、1か月の実践活動を行いました。また、事前・事後のアンケートを実施し、アンケートの集計結果も周知しました。



生活排水対策モデル地区事業学習会

(4) 環境意識と協働

① 環境学習の推進

地球温暖化対策地域協議会エコネットあじょうとの協働

市民が環境問題について関心を持ち、知識を高めるため、エコネットあじょうの自然部会、美化部会、くらし部会及び河川部会、並びに広報啓発事業、プロジェクト事業などにより、様々な環境学習イベント・講座などを協働により実施しました。

● 主な環境学習イベント・講座などの実績

部会など	事業名
自然部会	自然環境学習講座（2回）
	根羽村自然観察会
	樹木観察会（2回）
美化部会	サラサラ川アジサイロード一斉清掃
	グリーンカーテン・ガーデニング・オープンガーデンコンテスト
	いきいきウォークラリー
	市民ガーデニング講座（2回）
くらし部会	環境学習講座（エコキッズスクール）（9日）
河川部会	半場川クリーン作戦（2日）
	油ヶ淵流域の環境を考える集い
	河川景観整備（7日）
	河川・湖沼講座（2回）
プロジェクト事業	河川水質調査（毎月1回）
	エコセンターあじょうの管理運営（くらし部会）（通年）
	矢作川水源の森トラスト活動（通年）



自然部会 根羽村自然観察会



美化部会 いきいきウォークラリー（ごみ拾い）



くらし部会 エコキッズスクール（種まき）



河川部会 半場川クリーン作戦

保育園・幼稚園・児童センターでの環境学習の実施

市内すべての公立保育園・幼稚園・児童センターで環境学習を実施しました。

●環境学習の実施

保 育 園	安 城	夏祭り会でダンボールを利用したお化け屋敷を作ったり、廃品利用の小物を作ったりしてごっこ遊びに発展させた。
	あけぼの	夏祭り会で、ダンボール、ペーパー芯、カップなどを使って、お化け屋敷やお店屋さんに必要な小物を作り遊んだ。
	南 部	夏祭り会のお化け屋敷とお店やさんごっこに必要なものを廃品で作った。
	西 部	ダンボールで大型の南吉オセロを作り、運動会の親子競技に使った。
	和 泉	ペットボトルを使った泥んこ洋服入れや夏祭り会の用品(景品・ゲーム)を廃品を使って作った。
	東 端	運動会、公民館作品展、発表会で、廃品を利用して小道具・作品を作った。
	城ヶ入	ペットボトルとダンボール、新聞紙を利用して、輪投げゲームを作り、夏まつり会で遊んだ。
	東 部	安城七夕まつりの笹飾りに、廃材を利用して作品を作り展示した。
	高 棚	お店屋さんごっこの品物を廃品で作り、売ったり買ったりして遊んだ。
	志 貴	空箱や空容器など廃品を使いおもちゃや食べ物を作り、ごっこ遊びを楽しんだ。
	小 川	夏祭りの小道具(うちわ)や商品(アクセサリ、お面、おもちゃ)を廃品を利用し作った。
	さくら	夏祭り会のお店屋さんごっこのおもちゃや景品を廃品で作った。
	二本木	七夕祭りや夏祭り会の商品(牛乳パックのびっくり箱・プリンカップのマラカス)を廃品で作った。
	ゆたか	わいわいまつりの商品(けん玉・ボウリング・輪投げ・お面など)を廃品を利用して作った。
	えのき	古紙の分別について、職員会議で勉強すると共に子どもたちへの啓蒙を図った。
	みのわ	生活発表会に廃品を利用して小道具作りをした。
	新 田	安城七夕まつりの笹飾りに、廃品を利用して作品を作り展示した。
	赤 松	牛乳パックを利用して、個人の虫かごを作り、散歩に出かけた。
	三ツ川	町内会主催のふれあいまつり会に、廃品を利用して作ったパネルを出展した。
	みその	子どもたちに大ブレイク中の妖怪ウオッチを、牛乳パックとゼリーのカップを使って作り、遊びに取り入れた。
幼 稚 園	桜 井	桜井七夕まつりで、廃品を利用して品物やゲームコーナーを作って遊んだ。
	錦	夏祭り会(お化け屋敷)・発表会の小道具作りに廃品を利用した。
	作 野	ペットボトルを使い、大きなかたを作り、保育園や小学校のプールで遊んだ。
	安 城	年長親子行事のわくわく発見ラリー(幼稚園→浄閑寺→木琴道路→安城神社→安城西公園)で各所のゲームや飾りつけに廃品を利用した。
児 童 セ ン タ ー	北 部	2月のお店屋さんごっこ(毎年実施)で、品物やゲームコーナーを廃品を利用して作って遊んだ。
	さくの	さくのつこお祭り運動会に、廃品を利用したお神輿を作って参加した。
	東 栄	雑紙交流をした。(年長児が年中児・年少児にゴミの分別の仕方を教えた)
	北 部	身近な廃品を使ってリサイクル七夕飾りを作った。
	作 野	牛乳パックや使わなくなった紙などでスイスイこいのぼりを作った。
	中 央	牛乳パックや卵パックなどを使って、南吉の2匹のカエルをデザインした笹飾りを作った。
	桜 井	牛乳パックなどを使って、ごんぎつねを意識したきつねの短冊を作って七夕飾りにした。
	二本木	牛乳パックや透明円型空容器などを使って、南吉のでんでんむしの七夕まつり飾りを作った。
児 童 セ ン タ ー	中 部	牛乳パックや乳酸飲料容器などを使ってランプを作り、おいでんアートの七夕飾りを作った。
	西 部	牛乳パックや発泡スチロールなどを使って、南吉の手ぶくろを買いにをモチーフにした七夕まつり飾りを作った。
	安 祥	身近にある牛乳パックを再利用して手作りブーメランを作って遊んだ。

環境アドバイザー制度

環境に対して専門的、先進的な知識や技術を持つ人を「環境アドバイザー」として登録し、小中学校における総合学習や地域の学習会等に派遣する制度です。平成25年度末現在、36名を登録しています。

平成25年度は、小学4年生の清掃施設見学（クリーンバス）での説明や、小学校や地区公民館、エコきちへの出張講座などの活動のほか、環境アドバイザーのための養成講座を4回実施しました。



クリーンバス



かがくのひろば開催

かがくのひろば（1月24日～26日、文化センター）で環境作品を展示しました。小学校112点、中学校39点の作品の中から、「かがく大賞環境賞」を4点選出しました。市村アイデア賞には168点の応募がありました。



かがくのひろば

自然教室の開催

市内の全小学5年生は作手高原野外センターへ、中学1年生は茶白山高原野外センターへ行き、自然との触れ合いを深めました。



自然教室（小学校）

② 環境行動力の向上

秋葉いこいの広場環境学習センター「エコきち」

「エコきち」は、秋葉公園に隣接する安城市の環境学習センターです。体験プログラムやイベントを通して、身近な自然に親しんだり、環境問題を手軽に楽しく学べたりする施設です。平成25年度も環境に関する各種展示と学習講座・イベントを開催しました。



安城市こどもぐるぐるゼミナール



おいしい島のウーさま

平成24年に、「ドラゴンボール」などの作者である鳥山明さん書き下ろしマンガ「おいしい島のウーさま」を題材とした環境学習テキストを作成しました。このテキストを使用した環境学習講座「安城市こどもぐるぐるゼミナール」を、市内のイベントに合わせて開催しました。

わくわくネイチャースクール

平成25年度は、7月20日、8月11日、8月17・18日の4日間にわたり市内及び矢作川源流である長野県根羽村にて実施しました。自然環境下で遊ぶ楽しさや、水源を大切にするという気持ち子どもたちに意識してもらうため、様々な自然体験を行い、17人の参加がありました。



魚つかみ

4. 地球環境

地球環境

(1) 暮らしの低炭素化

主な取組み

エコタウン桜井 (26 ページ)

太陽光・太陽熱利用機器補助金制度 (27 ページ)

(2) 産業活動の低炭素化

主な取組み

ISO14001 更新審査の支援 (23 ページ)

(3) 交通・物流の低炭素化

主な取組み

あんくるバスの運行 (18 ページ)

自転車購入費補助金制度 (19 ページ)

レンタサイクル (19 ページ)

(4) ごみ処理の低炭素化

主な取組み

生ごみ処理機器購入補助金制度 (29 ページ)

リサイクルステーション (30 ページ)

エコセンターあんじょう (30 ページ)

エコらんど (30 ページ)

地域クリーン推進員制度 (31 ページ)

平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による浜岡原子力発電所の稼働停止により、引き続き夏の電力供給不足がたいへん懸念されました。このため、世の中では様々な形の節電の努力が行われました。震災から2年が経過し、節電の必要性が増々浸透してきました。

地球温暖化対策には、節電を含めた省エネを推進することが中心となるため、今回の節電・省エネの機運を一過性のものとして終わらせるのではなく、市民生活や企業活動に支障が出ない範囲で、継続的に省エネが取り組まれるよう働きかけを行っていく必要があります。

《環境指標の進捗状況》

環境指標7

指標名	基準値 (平成2年度)	現状値 (平成17年度)	目標値① (平成27年度)	目標値② (平成32年度)
1人あたりの温室効果ガス排出削減量 (民生部門(家庭系))	843kg -CO ₂	1,072kg -CO ₂ (基準値比27%増)	742kg -CO ₂ (基準値比12%減)	590kg -CO ₂ (基準値比30%減)

国内クレジット制度(二酸化炭素排出削減量売却)

国内クレジット制度とは、国内クレジット認証委員会により承認された方法に基づいて温室効果ガスを削減し、その量をクレジットとして売却する制度です。

太陽光発電設備及び空調設備改修により得られた二酸化炭素排出削減量を、国内クレジット制度を活用して売却しました。これを地元の事業者が購入し、カーボン・オフセットやCSR活動に活用することで、安城市と事業者の共同による地域への環境啓発を行うことができました。

国内クレジット制度排出削減実績

排出削減事業の名称	排出削減量	売払い額
安城市内13施設の太陽光発電設備導入におけるCO ₂ 排出削減事業	262t - CO ₂	137,550円
安城市内4施設の空調設備の更新によるCO ₂ 排出削減事業	132t - CO ₂	66,528円
安城市内小学校(6ヶ所)の太陽光発電設備導入におけるCO ₂ 排出削減事業	95t - CO ₂	142,500円

◆安城市環境マネジメントシステム部門別実行計画達成状況

市役所の組織活動に伴う環境への影響を継続的に改善していくため、安城市環境マネジメントシステムを運用しています。具体的には、環境基本計画を推進するための目標を各課が設定し、PDCAサイクルを回しながら、取組みを進めています。

平成25年度に目標として掲げた取組みの達成状況を紹介します。

都市基盤・交通

中項目	小項目	施策	取組み内容	実績	担当課
都市と自然	豊かな緑の確保	田園風景の保全	ふれあい田んぼアートの実施支援	計画どおり	農務課
			農地の景観環境保全活動への補助	計画どおり	土地改良課
		歴史ある緑の保全	文化財保存地区等の松くい虫駆除の実施	計画どおり	文化財課
			松くい虫薬剤防除補助事業及び松くい虫被害木自主駆除補助事業の実施	計画どおり	公園緑地課
			樹林保全地区、保護樹木の指定及び指定された保全地区等の保全に必要な費用の助成	計画どおり	
		公共用地の緑化	荒曽根公園で植樹祭の実施	計画どおり	公園緑地課
			桜井南公園の整備	計画どおり	
		民有地の緑化	生垣等設置奨励補助事業及び都市緑化推進事業の実施	計画どおり	公園緑地課
			花壇コンクールの実施	計画どおり	
	健全な水環境の確保	豊富な水資源の確保	分収育林についての理解を深める行事の開催（根羽村植樹祭に参加）	計画どおり	財政課
			分収育林事業（矢作川水源の森事業）の実施	計画どおり	
		水循環の維持・回復	雨水貯留浸透施設設置補助事業の啓蒙啓発活動	計画どおり	土木課
			水田貯留事業の実施に向けて測量調査及び調整樹設置工事	計画どおり	
			二本木小学校調整池の改造	計画どおり	
		良好な水質の維持	川と海のクリーン大作戦の展開（矢作川河川敷の清掃活動）	計画どおり	維持管理課
			下水道事業の説明会を8回開催	計画どおり	下水道管理課
			老朽管等の布設替を1,860m実施	計画どおり	水道工務課
			合併処理浄化槽設置補助	計画どおり	環境首都推進課
		水に親しめる空間の形成	準用河川郷東川の改修に併せて多自然川づくりを実施	計画どおり	土木課
		環境に配慮した公共工事の推進	下水道普及率を75%	計画どおり	下水道建設課
都市・交通システム	自動車利用からの転換	公共交通機関の利便性の向上	あんくるバス利用人数を400,000人/年以上	計画どおり	都市計画課
		自転車利用の促進	レンタサイクル利用者を7,200人/年以上	計画どおり	都市計画課
			自転車関連イベントでの自転車利用のPRを5回/年以上実施	計画どおり	
	環境負荷の少ない都市づくり	都市機能の充実	橋梁長寿命化計画	計画どおり	土木課
		交通の円滑化	都市計画道路整備率を80.5%以上	計画どおり	都市計画課
			市道桜井赤松線道路改良工事	計画どおり	土木課
		環境に配慮した公共工事の推進	南明治第一土地区画整理事業	計画どおり	南明治整備課
			南明治第二土地区画整理事業	計画どおり	
			市民協働によるまちづくり協議会への支援	計画どおり	区画整理課
			桜井3号調整池の整備	計画どおり	
			桜井駅前線を整備。水環境のための透水性、排水性舗装。植栽による道路緑化	計画どおり	

農業・産業

中項目	小項目	施策	取組み内容	実績	担当課
農業	農と環境との調和	持続可能な農業の推進	化学肥料、農薬販売量調査	計画どおり	農務課
			J A まつり開催時に適正農薬の使用をPR	計画どおり	
		農ある暮らし（アグリライフ）の普及	野菜作り講座の開催	計画どおり	農務課
		地産地消・旬産旬消の推奨	食育推進啓発活動を年間10回実施	計画どおり	農務課
			学校給食における地元（碧海5市）農産物（青果物）の購入割合を年間40%以上（重量ベース）	計画どおり	
産業活動	事業者の取組み支援	省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進	ISO14001更新支援事業の実施	計画どおり	商工課
	公害の防止と廃棄物の減量	大気汚染の防止	事業所に対する環境保全講習会の実施	計画どおり	環境首都推進課
		水質汚濁の防止		計画どおり	
		騒音・振動・悪臭の防止		計画どおり	
		土壌・地下水汚染の防止		計画どおり	
		有害化学物質などの対策		計画どおり	
		事業系一般廃棄物の減量		計画どおり	

ライフスタイル

中項目	小項目	施策	取組み内容	実績	担当課
くらしの省エネルギー	家庭における省エネルギー行動の促進	省エネルギー家電製品などへの買い替え促進	うちエコ診断事業の実施	計画どおり	環境首都推進課
			安城市版エコポイント制度の実施	計画どおり	
	移動における省エネルギー行動	省エネルギーの推進	車検満了の更新時に低公害車を導入	計画どおり	財政課
			四季の交通安全運動におけるエコドライブの普及にむけた啓発活動の推進	計画どおり	市民安全課
			イベントにおけるエコドライブステッカーの配布	計画どおり	
	建築物の省エネルギー化の促進	省エネルギーの推進	安定器の故障による交換時にすべて省エネ型を採用	計画どおり	行政課
			環境共生型仮移転住宅の体験	計画どおり	区画整理課
	新エネルギーの利用	新エネルギーシステムの導入	太陽光発電システムを本庁舎に設置	計画どおり	行政課
			太陽光発電設備を設置（東山中、北中、安祥中、桜井中、明祥中）	計画どおり	建築課
			住宅用太陽光発電システム設置費補助金制度利用件数を500件	計画どおり	環境首都推進課
			町内公民館への太陽光発電設備設置に対する助成	計画どおり	市民協働課
家庭のごみ	ごみ減量の推進	再利用・再生利用の促進	放置自転車対策事業のPR	計画どおり	維持管理課
			再生家具入札販売	計画どおり	ごみゼロ推進課
			し尿処理施設放流水の利用	計画どおり	
			溶融スラグの資源活用	計画どおり	
			七夕まつりに使用した竹を再利用	計画どおり	商工課
			古紙類の回収	目標値を未達成	ごみゼロ推進課
			古着の回収	計画どおり	
		ごみ減量意識の向上	4R・分別の推進、効果的運動の検討	計画どおり	ごみゼロ推進課
			有価物回収地区報奨金事業の実施	計画どおり	
		ごみ減量行動の促進	安城市資源事業推進報奨金事業の実施	計画どおり	ごみゼロ推進課
			ペットボトル・乾電池回収推進報奨金事業の実施	計画どおり	
			生ごみ処理機購入補助	目標値を未達成	
			EMぼかし配布	計画どおり	

中項目	小項目	施策	取組み内容	実績	担当課
家庭のごみ	適正な廃棄物処理	適正で効率的なごみ処理の推進	低速破砕機の破砕刃の交換本数を200本以下	計画どおり	ごみゼロ推進課
			融解スラグを年間500t以上活用	計画どおり	
			適正な廃棄物処理計画の策定	計画どおり	
			ごみ収集作業手順書の遵守	計画どおり	
			ごみの分別収集の推進	計画どおり	商工課
		不法投棄の対策	家電リサイクル法対象品目の不法投棄数を450以下	計画どおり	ごみゼロ推進課
健全な生活環境	良好な生活環境の形成	省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進	市営住宅（門原住宅）の住戸改善の実施	計画どおり	建築課
		地域の清掃活動の推進	公園愛護会事業および街路樹愛護会事業の実施	計画どおり	公園緑地課
			アダプトプログラムの実施	計画どおり	ごみゼロ推進課
			衛生害虫防除の取り組みについて説明	計画どおり	健康推進課
			クリーン推進員説明会の開催	計画どおり	ごみゼロ推進課
			町内一斉清掃	計画どおり	
		ポイ捨ての防止	ポスターコンクール及び環境美化標語募集の実施	計画どおり	ごみゼロ推進課
		その他	景観を害する屋外広告物の除去	計画どおり	維持管理課
	生活型公害の防止	水質汚濁の防止	油ヶ淵浄化デーの開催	計画どおり	環境首都推進課
			大気・水質・騒音・振動等の環境監視	計画どおり	
環境意識と協働	環境学習の推進	子どもに対する環境学習の推進	各保育園・幼稚園で4回/月、園児に対する環境学習を実施	計画どおり	子ども課
			各保育園・幼稚園で3回以上/年、園だよりを通じて保護者・園児の意識啓発を実施	計画どおり	
			私立幼稚園9園・私立保育園12園に環境学習を実施するよう要請	計画どおり	
			児童センターで14回/年、環境学習を実施	計画どおり	子育て支援課
			小学校への下水道出前講座を7校実施	計画どおり	下水道管理課
			環境学習施設としてリサイクルプラザの活用	計画どおり	ごみゼロ推進課
			小学校・保育園等関連団体に環境アドバイザーを50回派遣	計画どおり	環境首都推進課
			親子参加型の環境学習スクールを1回開催	計画どおり	
			全小中学校で自然教室を実施	計画どおり	学校教育課
			企業とタイアップし、環境学習プログラムを実施	計画どおり	
			かがくのひろば展に、環境問題・環境保全に関する作品を展示	計画どおり	教育センター
		環境学習機会の充実	福祉まつりを、福祉と環境を関連づける催しと位置づけ、開催行事を通じて、環境配慮及び改善の意識を高め、関連団体、市民との連携を強化	計画どおり	社会福祉課
			環境教育の発表に対する支援	計画どおり	商工課
			エコネットあんじょうとの協働による事業実施	計画どおり	環境首都推進課
			環境、自然、生き物の本の読み聞かせ、紹介を年間21回開催	計画どおり	中央図書館
		指導者の養成	環境アドバイザーの養成講座を4回開催	計画どおり	環境首都推進課
	環境行動力の向上	省エネルギーの推進	水道使用量削減の啓発	計画どおり	水道業務課
		環境にやさしいイベントの実施	広報あんじょうに定例的な啓発記事を掲載	計画どおり	秘書課
		環境拠点の整備・充実	魅力ある学校づくり事業にて、環境に配慮した学校を選択	計画どおり	総務課
		その他	施設めぐりで環境クリーンセンターなど環境関連施設見学を実施	計画どおり	秘書課
			環境配慮型ライフスタイルの推進に取組む消費生活団体を支援	計画どおり	商工課

平成26年度 環境関連事業一覧

(単位：千円)

款・項・目	事業名	予算額	備考	担当課
05-05-05 (議会費)	議会総務事務	331	「現行法規」インターネット検索使用料 「判例体系」インターネット検索使用料	議事課
	本会議及び委員会等の議会運営事務	22,982	本会議場等天井改修(LED化)工事費	
10-05-05 (一般管理費)	秘書運転事務	961	プラグインハイブリッド車リース料	秘書課
	庁舎施設管理事業	4,486	壁面緑化管理委託料（H25庁舎耐震工事により実施不可）	行政課
10-05-15 (人事管理費)	基本研修事業	36	エネルギー管理講習会受講負担金	人事課
10-05-30 (電算管理費)	ICT推進事業	47,076	サーバー統合経費、電子申請システム負担金など	情報システム課
10-05-35 (文書費)	行政文書管理事務	3,197	電子例規類集作成委託料	行政課
10-05-55 (財産管理費)	普通財産管理事業	972	矢作川水源の森分収育林事業負担金	財政課
20-05-45 (総合斎苑費)	総合斎苑施設管理事業	4,900	照明器具取替修繕料	市民課
20-10-05 (清掃総務費)	環境保全協働推進事業 ごみ減量教育事業 地域環境美化事業 ごみ減量化推進事業 資源リサイクル事業 その他総務事務費等	244,000	全事業	ごみゼロ推進課
	合併浄化槽普及事業	40,335	全事業	環境首都推進課
20-10-10 (塵芥処理費)	塵芥収集事業 不法投棄対策事業 資源再生化事業（中間処理等事業） リサイクルプラザ施設管理事業 せん定枝リサイクルプラント事業 最終処分場事業	1,075,231	全事業	ごみゼロ推進課
20-10-15 (環境クリーンセンター費)	ごみ焼却施設管理事業 ごみ焼却灰溶融化事業 し尿処理施設管理事業 ごみ焼却施設等整備事業 その他総務事務費等	1,753,247	全事業	ごみゼロ推進課
20-10-20 (環境対策費)	環境対策広域事業 環境教育事業 酸性雨モニタリング事業 水質汚濁防止事業 大気汚染防止事業 騒音・振動防止事業 土壌汚染防止事業 悪臭防止事業 有害化学物質測定事業 生活排水対策実践事業 油ヶ淵水質浄化事業	18,829	全事業	環境首都推進課
20-10-25 (環境推進費)	環境基本計画推進事業 環境マネジメントシステム維持管理事務 環境アドバイザー等支援事業 地球温暖化対策地域協議会事業 環境意識啓発事業 省エネルギー推進事業 新エネルギー導入事業 環境学習推進事業 秋葉いこいの広場施設管理運営事業 その他総務事務費等	159,718	全事業	環境首都推進課
30-05-10 (農業総務費)	アグリライフ支援事業	9,077	拠点施設の運営に要する経費 市民ふれあい農園開設等支援事業補助金	農務課

款・項・目	事業名	予算額	備考	担当課
30-05-15 (農業振興費)	食料・農業・交流推進事業	25,000	食料・農業・交流推進事業補助金 アン・ジョー環境農業推進事業の後継制度	農務課
	環境保全型農業直接支援対策事業	104	環境保全型農業直接支払交付金	
30-05-20 (畜産業費)	畜産衛生環境保全対策事業	2,970	悪臭発生防止費補助（消臭剤1/3補助） 衛生害虫発生予防費補助 畜産環境保全推進費（巡回指導、共励会）	農務課
30-05-40 (産業文化公園費)	デンパーク・道の駅施設運営事業	76,200	デンパーク施設工事（空調更新工事） 環境にやさしい公園づくり	農務課
30-05-35 (農地費)	土地改良施設維持管理事業 支援事務	300	土地改良施設維持管理事業補助 （明治用水土地改良区の小水力発電施設設置に係る一部補助）	土地改良課
	環境用水事業支援事務	37,559	環境用水事業補助金	
	水源かん養造林事業支援事務	11,650	水源かん養造林事業補助金	
	農地・水保全管理支援事業	71,058	活動支援負担金 事業推進、確認業務委託料 地域協議会負担金	
35-05-10 (商工業振興費)	ISO更新支援事業	4,200	ISO更新審査費補助金のうちISO14001分	商工課
40-15-05 (河川維持費)	河川環境管理事業	2,772	環境対策委託料	土木課
40-15-10 (河川新設改良費)	雨水貯留浸透施設設置事業	2,500	貯留浸透施設設置補助金	土木課
40-20-05 (都市計画費)	あんくるバス運行事業	203,656	あんくるバス運行事業（負担金） コミュニティ交通運行事業（負担金） バスロケーションシステム等導入経費 あんくるバス利用促進事業	都市計画課
	路線バス補助事業	21,400	路線バス運行費補助（赤字補填）	
	レンタサイクル事業	2,899	自転車整備修繕料 レンタサイクル管理委託料、駐輪場借上料など	
	エコサイクルシティ協働推進事業	10,970	自転車まちづくりサポーター活動委託料 自転車まちづくり協議会報償費、自転車購入費等補助 自転車整備ネットワーク整備調査委託料など	
40-20-15 (緑化事業費)	花とみどりの普及事業	16,800	都市緑化推進事業補助 生垣等設置奨励補助	公園緑地課
50-10-05 (学校管理費)	小学校魅力ある学校づくり事業	6,000	市内21小学校魅力ある学校づくり事業委託料	教委総務課
50-15-05 (学校管理費)	中学校魅力ある学校づくり事業	4,000	市内8中学校魅力ある学校づくり事業委託料	教委総務課
50-25-55 (図書館費)	地域電子図書館構築事業	300	行政資料等デジタル化業務委託料	中央図書館
50-25-70 (文化財保護費)	文化財保護事業	324	本證寺内堀環境調査等委託料	文化財課
50-30-30 (スポーツセンター管理費)	スポーツセンター施設管理事業	30,000	都市ガス コージェネレーションシステムガス料金	スポーツ課
50-30-35 (学校給食共同調理場費)	給食共同調理場施設管理事業	2,458	生ごみ処理機専用菌床・設備保守点検費用 H21.8月から新中部調理場でも生ごみ処理機稼働 南部の処理機は堆肥型で学校等に配付している	給食課
	給食共同調理場運営事業	7,026	ビニールゴミ燃料化処理 可燃物等他の処理とともに長期契約実施	
下水特会	全事業	4,319,000	下水道施設整備・運営に関する経費 面整備42ha 污水管路建設工事費 浄化槽雨水貯留施設転用補助金	下水道管理課 下水道建設課
農集排特会	全事業	56,000	農集排事業に関する運営経費 浄化槽雨水貯留施設転用補助金	下水道管理課 下水道建設課
桜井特会	桜井換地事業	29,964	環境共生型仮移転住宅借上料	区画整理課
水道企業会計	取水浄水設備増補改良費	156,600	太陽光発電設備設置委託料	水道工務課
合 計		8,487,088		

様式

安城市環境基本計画に掲げる各種施策及びこの環境報告書の内容について、
みなさまのご意見・ご感想をお寄せください。

【提出締切日：平成 27 年 1 月 30 日(金)】（表紙の裏に提出方法が記載されています。）

安城市役所 環境部環境首都推進課

「平成26年度 環境報告書」係 行

FAX : 0566-76-1112



〒□□□-□□□□

平成 年 月 日

ご住所

ふりがな

お名前

年齢

歳

電話番号

FAX 番号

メールアドレス

●アンケートにご協力ください。（該当する箇所の□をチェックしてください。）

Q1 この報告書は、読みやすいですか

☐ 読みやすい

☐ 普通

☐ 読みにくい点がある

Q2 内容についてどう思いましたか

☐ 充実している

☐ 普通

☐ 物足りなさを感じる

Q3 本市の環境問題への取組み（環境施策）をどう評価しますか

☐ よく評価できる

☐ 普通

☐ まだまだ不十分である

Q4 この報告書をどのような立場でお読みになりましたか

☐ 市民

☐ 事業者の環境担当者

☐ 環境 NGO・NPO

☐ 行政機関

☐ 報道機関

☐ 各種団体

☐ 教育・研究機関

☐ 学生

☐ その他（ ）

※ Q1 ～ Q3 で具体的に記入していただける方は、下の記載欄をお願いします。

●ご意見等記載欄

番号（ ）

ご協力ありがとうございました。

この年次報告書は、安城市環境基本条例第 7 条に基づき、平成 25 年度における安城市の環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して講じた施策の概要について取りまとめ、公表するものです。

平成 26 年度版
安城市環境報告書
(環境基本計画 年次報告)

〈発行〉安城市
〈編集〉環境部環境首都推進課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23
TEL 0566-71-2206
FAX 0566-76-1112(代)
<http://www.city.anjo.aichi.jp/>

